体協たかやま

TAKAYAMA

第40号
平成22年8月20日
(財)高山市体育協会
広報委員会

平成二十二年度事業を推進し、さらなるスポーツの振興を

(財)高山市体育協会会長　瀬上和雄

平成二十二年度も既に三分の一を終えていますが、今年度も事業計画に基づき取り組みを進めています。まず、指定管理事業につきましては、高山地区十四体育施設の指定管理者として第二期目五年間の協定を市と締結し、引き続き管理運営していくことになり、市民に使いやすく愛される施設となるよう務めているところであります。

また、高山市体協合併五周年記念事業につきましては、「高橋尚子さんと走ろう・話そう」を五月十六日(日)、開催いたしました。多くの市民の参加を得て、大成功の内に終えることが出来、会員の皆さまと共に大変喜んでいるところであります。さらに、七月には、飛騨地区体育大会が開催され、高山市は今年度も総合優勝を飾りました。この勢いで九月、二月の県民スポーツ大会の上位入賞を目指し、各種団体の奮闘を期待するものです。

この他、十月には市民スポーツフェスティバルと市民駅伝大会、十一月には市民健康マラソン等々、各種事業が開催されます。これらの事業に積極的に取組み、市民スポーツの振興を図って行きたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

合併五周年記念事業を終えて

(財)高山市体育協会副会長
合併五周年記念事業実行委員会委員長　山越稔

平成二十一年度、二十二年度に亘り実施してきました合併五周年記念事業も、五月十六日の「Qちゃん（高橋尚子さん）と走ろう・話そう」の事業をもって全て終了いたしました。

私は平成二十年度設置された「合併記念事業検討委員会」から足掛け三年に亘りこの事業に携わってきましたので、今は全ての事業を無事終えることが出来、ホッとしているところであります。

この合併記念事業は、日本一広くなった市域の中で高山市体育協会がスポーツの輪を広げ、これからも市民同士仲よく手をつないで行こうという主旨の元、取り組んだもので、広報誌「体協たかやま」を初めて新聞折込みで全戸に配付したことをはじめ、前述の「Qちゃんと走ろう・話そう」等々を実施してきました。特に、メイン事業として実施したこのQちゃん事業には二千名を超える市民の参加をいただくとともに、参加された皆さんに大変喜んでいただくことができ、合併記念事業の名にふさわしい想い出に残る事業になったと思っています。

その意味においても当事業は、所期の目的を達成できたのではないかと思っていますが、そのためにご苦労をお掛けしました実行委員はじめ、それぞれご協力いただきました役員、評議員の皆さま、さらには加盟団体の皆さま方にこの紙面をお借りして、厚くお礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。

わが協会の大先輩 5

高山市相撲連盟会長　島田政吾

私が高山市相撲連盟に入会したのは、昭和53年で、当時の会長は、今は亡き元県議の鳩谷斉氏でした。とてもお話しの面白い方で、次の会長となる元県議の酒向憲造氏との口相撲のやりとりを、懐かしく今でも楽しく思い出しています。その頃の連盟主催の青少年相撲大会は、小中学校合わせて300名もの豆力士が出場し、早朝より始まった大会が終了するのは夕方遅くで、観客も護国神社の境内に1500人も集まり大変な盛り上がりでした。それが最近ではスポーツの多様化と、裸になって回しを締めることが恥ずかしいのか年々出場する選手が減り、大会開催が危ぶまれる状況になってまいりました。

そこで考えたのが保育園、幼稚園児の相撲大会の開催です。小さな頃から相撲に馴染んでもらうのが、一番の有効策と考え実施しました。その大会も、はや今年で第8回となり会場のビッグアリーナ武道場には、250名を越える高山市内の園児達、観客を含めると1000人以上が集うという大きな大会となりました。ちびっこ力士達の微笑ましい、それでいて真剣な取組みです。

お蔭様で最近では、全日本小学生相撲優勝大会に出場するような選手が育ちました。

昨年国技館での大会に出場した、新井貴也君は全国ベスト16となりましたし、東海大会で好成績の丸山紘史君も出場しました。

相撲大会を通じて、勝つことの喜び、負けることの悔しさ、敗者への思いやりを学び、厳しい現代の環境に打ち勝つ勇気と気概が持てる心豊かな子どもに育つよう、これからも取り組んでいく所存です。

改めて、関係各位の皆様には平素より当連盟の趣旨、運営に深いご理解とご協力を賜り、心から御礼を申し上げると共に、今後とも一層のご支援を宜しくお願い申し上げます。

栄光・快勝・健闘……の戦跡

全国高校総体出場者

〔ハンドボール〕
〈女子〉日野友佳子、甲めぐみ、豊島夕未、三浦麻奈未、山下真里奈、井上英美里、丸山由乃、中村萌愛、山崎翼、上野ほのか、道上静菜、野中文月、中島沙里奈、古橋広葉、後藤秋穂（以上飛騨高山高校）

〔バドミントン〕
〈男子〉田口正英（斐太高校）

〔剣道〕
〈男子〉保木脇尚利、新井洋太（以上高山西高）

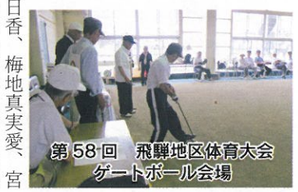
〔アーチェリー〕
〈男子〉岩坂謙吾（高山西高校）

全日本少年軟式野球県大会成績

日枝中クラブが鵜沼ブラックソックスを9―1で破り優勝。八月に行われる、中部日本中学選抜大会に出場する。

東海中学総体出場者

〔団体の部〕
〔ハンドボール〕
〈日枝中・女子〉土川穂南美、柴田佑真、佐藤茜、内山美咲、松山海里、山田沙那、大木いずみ、西野圭菜子、小田彩加、玉井心、川上真由子、芦谷夏月、木戸脇里穂、大坪初音、田中杏奈、荒川明美
〈松倉中・男子〉二村恭輔、政井颯起、伊藤拓也、寺田享平、千葉碩人、松井勇一郎、石原優磨、高橋宏武、小笠原卓也、石神勇輝、大杉青紗、山口正和、鬼淵廉、洞口大樹、平井聡
〈東山中・男子〉原伶輔、伊賀奨一郎、森下将史、平野友寛、西平吉慶、南裕貴、諏訪幹人、坂元佑輔、山本湧馬、下萩亮太、継石凌平、桂川将成、田中貴大、小笠原綾杜、林風輝
〔バスケットボール〕
〈中山中・女子〉野村綾音、橋爪愛、山下善弓、根津明日香、梅地真実愛、ノ腰杏菓、村井理恵、荒川直恵、田中祐里奈、水上はるな、新井皓子、松下美喜子
〔バレーボール〕
〈中山中・女子〉千原礼、舟橋佑美、島田佳苗、中村佑莉、渡邊彩矢香、甲綾佳、小西愛衣、田中ちひろ、四ツ辻智世、白尾蘭、大澤里花、濱田苑佳、甲和花菜


第58回　飛騨地区体育大会
ゲートボール会場

〔相撲〕
〈中山中・男子〉新井貴也、丸山哲平、牛丸了英、舘ひかる

〔剣道〕
〈中山中・男子〉野中俊宏、柚原拓、松村凌汰、水小瀬勇哉、二村友教、長畑佑哉、加藤光之介
〈久々野中・男子〉坂田志温、中井竜也、浅野僚介、中野裕二朗、中井拓人、坂本頌泰、矢島七聖
〈国府中・男子〉蒲雅人、川原聖士、清水駿平、清水口翔太、尾崎健太、福沢莞右、長瀬大喜
〈国府中・女子〉岩佐由香、前田希未、中畑さおり、長瀬佑圭、脇谷明日香、北出敦子、長谷芽韻子

〔卓球〕
〈丹生川中・男子〉西保木勇斗、大野一慶、尾崎亮祐、田近悠一郎、栃洞槙人、坂井瑞輝、石渡優、岩田衛、所附亮介

〔陸上競技〕
〈中山中・女子・リレー〉
・共通　若田実桜、杉山友里大原万結子、武内琴子
・低学年　漆山千春、岩川奈々萌垣根安未、平田亜弓

【個人の部】
〔陸上競技〕
三〇〇〇米男子　洞口拓己
一五〇〇米女子　堀優花
二〇〇米女子　野中舞子
（以上中山中）
一年八〇〇米女子　垣内美紀（清見中）
二年一〇〇米男子　中谷健吾（北稜中）

〔水泳〕
バタフライ一〇〇米男子　安江貴哉（中山中）
平泳ぎ男子二〇〇米　上遠野稜佑（東山中）

〔卓球〕
〈男子〉栃洞槙人、坂井瑞輝（丹生川中）
〈女子〉下垣内志保（久々野中）

〔柔道〕
〈男子〉90k級・牛丸了英（中山中）
〈男子〉紺谷裕貴（清見中）
〈女子〉岩佐由香（国府中）

陸上競技 第二十六回全国小学生交流大会県予選会（優勝者は全国大会に出場）

〈男子〉一〇〇米（五年）朝熊剛康（新友）、走幅跳 田中恭士郎（新友）〈女子〉一〇〇米（六年）川上夢花（新友）

全国小学生ハンドボール大会へ

〔高山ミニハンドボールクラブ〕（出場者）
〈男子〉小嶋健翔、青木琢磨、大石創、柳原享河、大垣内祐希、瀬上朋希、中谷圭佑、柿直孝、岡崎海斗、堀勝一郎、青木椋雅
〈女子〉下屋奏香、山之上裕佳、松井かな子、折付かなえ、小瀬紘乃、桂川紗也加、今井綾乃、古橋まりな、加賀江梨緒、小田唯加、田中佑歩

第五回県小学優勝大会（相撲）

・小学校団体一位　高山クラブA
・個人一位　一年　滝口輝太（東）
・三年　松橋宙也（江名子）

第四十三回全日本社会人ターゲットアーチェリー選手権大会出場

・平野寛明（打江精機）
・五反田裕子（JAひだ）
・野木諭（日本レジボン）

第五回全日本キャデットアーチェリー選手権大会出場

・倉坪絢（日枝中）
・黒木有佳（松倉中）

柔道の「形」東海大会で白野姉妹が優勝

白野さん姉妹（恵さん・光さん）は三つ子のうちの二人。大学時代はインカレに出場するほど活躍。ともに昨年帰郷し、二人で「形」に取り組み息が合った技を披露し、初出場ながら優勝を勝ち得た。十月に行われる全国大会にも出場する。

合併五周年記念事業

Qちゃんと走ろう・話そう会

合併五周年記念事業のメイン事業として、「Qちゃん（高橋尚子さん）と走ろう・話そう」を五月十六日（日）開催しました。

午前の中山公園陸上競技場での「Qちゃんと走ろう」には、約千名、午後の「話そう」には約千二百名が参加し、大きな盛り上がりの中で、事業を無事終えることができました。

①「Qちゃんと走ろう」ランニング前のQちゃん指導による準備体操。
②走り終えた組毎にQちゃんを囲んで写真撮影。
③トークショー「Qちゃんと話そう」
④「Qちゃんと話そう」Qちゃんに質問する若きアスリート

③

①

④

②

平成21年度　財団法人高山市体育協会事業報告（概要）

月　日	事　業　名	会　場　等
7月 12日(日)	第57回飛騨地区体育大会	飛騨地区一円
7月 25日(土)	第26回市民登山	北八ヶ岳・北横岳
9月 20日(日)	第3回岐阜県民スポーツ大会	西濃地区
10月　4日(日)	市民スポーツフェスティバル	ビッグアリーナ他
10月 25日(日)	第5回市民駅伝大会	一之宮町内
11月 23日(日)	第33回市民健康マラソン	中山陸上競技場
1月 31日(日)	合併5周年記念式典・体育協会表彰式・新年総会	
2月7･8日(土･日)	第3回岐阜県民スポーツ大会スキー競技会	飛騨市
年間を通して	市指定体育施設の管理（14施設）	
	トレーニングルーム利用者講習会・各種スポーツ教室の開催（クライミング・弓道・アーチェリー・テニス・ソフトバレー・卓球）	
	市民体育大会（弓道・軟式野球．バドミントン．ハンドボール）	
	各種委員会の開催（総務・財務・事業・強化・広報）	
	「体協たかやま」の発行（年3回）	
	理事会（6回）・評議会（4回）の開催	
	各加盟団体との共催事業の開催（13種目・51大会）	

平成21年度　一般会計及び指定管理事業等特別会計収支決算（概要）

（単位：円）

科　目	合　計	一般会計	特別会計	備　考
Ⅰ．収入の部				
基本財産運用収入	525,871	525,871		基本財産定期預金利息
会費収入	3,761,000	3,761,000		会員会費、賛助会費
自主事業収入	5,232,645		5,232,645	市民健康マラソン・市民登山・駅伝大会参加料等
指定管理等収入	84,836,403		84,836,403	指定管理料、体育施設使用料等
雑収入	121,069	121,069		受取利息、飛騨体協事務収入、雑入
特定預金取崩収入	139,200		139,200	退職給与引当預金取崩
繰入金収入	0	2,500,000		特別会計から一般会計へ（内部取引消去）
積立金取崩収入	1,010,726	1,010,726		合併記念事業積立金取崩収入
当期収入合計	95,626,914	7,918,666	90,208,248	
Ⅱ支出の部				
管理費	1,524,277	1,524,277		会議費、旅費交通費、通信運搬費等
事業費	6,415,632	6,415,632		県体派遣費、地区体派遣費、強化費、合併記念事業費等
自主事業費	4,506,487		4,506,487	市民体育大会費、市民健康マラソン大会費、市民登山等
指定管理事業費	76,744,421		76,744,421	職員人件費、事務費、管理費等
租税公課	4,281,900		4,281,900	
繰入金支出	0		2,500,000	特別会計から一般会計へ（内部取引消去）
特定預金支出	0	0		
予備費	0	0	0	
当期支出合計	93,472,717	7,939,909	88,032,808	
当期収支差額	2,154,197	△21,243	2,175,440	
前期繰越収支差額	10,076,561	725,358	9,351,203	
次期繰越収支差額	12,230,758	704,115	11,526,643	

「ぎふ清流国体」アーチェリーに助っ人

平成二十四年に開催される「ぎふ清流国体」に向け、今年四月から、県体協のアーチェリー競技スポーツ専門指導員として長岡光江さんが高山に派遣され、高山西高校を拠点に後進の指導にあたっています。

長岡さんは、静岡県の出身で、日本体育大学在学中、新潟国体で優勝、また、ユニバーシアード日本代表となる等全国トップクラスの選手で、現在、国体強化選手に指定されています。

なお、長岡さんは、先般六月にトルコ共和国で開催された「アーチェリーワールドカップ二〇一〇」に日本代表選手として出場しました。

市体協国体特別強化費の交付

今年度の市体協事業計画において、来る24ぎふ清流国体にむけて、高山市で開催されるバスケットボール・ハンドボール・アーチェリー・スキー競技については、開催地であるがゆえに選手育成や強化のためより経費が必要な場合は必要に応じて支援することを定め、予算も計上したところである。

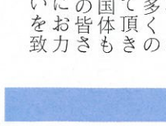
こうした中、ハンドボール競技ではHC高山、アーチェリー競技では高山西アーチェリークラブが県体協の24国体特別強化チームに指定されたことを踏まえ、さる八月三日、国体特別強化費（十万円）の交付式を行い、瀬上会長から両協会長に対して二十二年度分が交付されました。

国体特別強化交付式

第58回飛騨地区体育大会

◇陸上競技	男子	①高山②下呂③飛騨	壮年
	女子	①高山②下呂	①飛騨②高山
◇サッカー		①高山②飛騨③下呂	③下呂・大野
◇テニス	一般男子	①高山②飛騨	シニア男子
	一般女子	①高山	シニア女子
	壮　年	①高山	マスター女子
◇バスケットボール	一般男子	①高山②下呂③飛騨	①高山②下呂
	一般女子	①高山②飛騨③下呂	①高山②下呂
◇柔　道	一　般	①高山②飛騨	①高山②飛騨
◇バドミントン	一般男子	①高山②飛騨	①高山②飛騨
	一般女子	①高山②下呂	①高山②下呂
◇ソフトテニス	一般男子	①下呂②高山	①高山②下呂
	一般女子	①高山②下呂	①下呂②高山
	成･壮年	①下呂②高山	①下呂②高山
	一　般	①飛騨②下呂	③高山・大野
◇野軟球式		③高山・大野	
◇バレーボール	壮　年	①飛騨②高山	
	シニア男子	③下呂・大野	
	シニア女子	①高山②下呂	
	マスター女子	①下呂②高山	
◇剣　道		①高山②飛騨③下呂	
◇卓　球	一般男子	①高山②飛騨③下呂	
	一般女子	①高山②飛騨③下呂	
◇ソフトボール	一般男子	①高山②飛騨	
	40才以上	①高山②飛騨	
	レディス	①下呂②高山	
	エルダー	①下呂②高山	
◇ゲートボール	一　般	①高山②下呂	
		③飛騨④大野	
◇弓道	一般男子	①下呂②高山	
	一般女子	①下呂②高山	
◇総合順位		①高山②下呂	
		③飛騨④大野	

この人に こんにちは



今回は、高山軟式野球連盟の財務部長でもあり、少年野球チーム・東口ビンズの監督を務められている山田明典さんを訪ねました。

1. 今日までの選手・指導者経歴をお聞かせ下さい
- 野球は、小学生から始め、大学の軟式野球部までプレーし、高山軟式野球連盟の審判員として15年目を迎えています。子どもが東口ビンズ少年野球チームに入団したため、コーチとして五年、昨秋より監督を務めています。

2. 指導者や選手として一番印象に残っていることは、何ですか。
- 平成22年「高円宮賜杯全日本学童軟式野球高山大会」にて東口ビンズが優勝できたことです。私個人としては、平成元年の高山軟式野球連盟の年間ベストナインに投手として選ばれたことです。

3. 選手を育てながら目指していることは、何ですか。
- 飛騨地区は、冬の間グラウンドが使えないというハンディがありますが、基礎練習や体育館での筋力トレーニングを中心に活動し、春先には岐阜の方へ遠征し、県でも対等に戦えるチーム作りを目指してきました。

4. 今後野球に対して山田さんが期待することは何ですか。
- 高山のレベルも年々向上してきており、中学では、県を制し東海大会や全国大会へ出場するチームも出てきています。私たち指導者としては、野球が大好きな子どもたちに、一生野球を続けてもらいたいと思うと同時に、高山地区から甲子園へ出場する高校が出てくれることを期待しています。

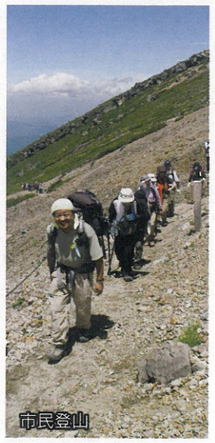
［筆者の所感］　大学生活から高山に戻られ、現役（今でも所属チームで投手として活躍）でプレーをしながら、少年野球を指導する忙しい日々を送っておられる姿は、温厚なながにも厳しさを感じさせられ、今後の高山における野球を引っ張ってくれる指導者であると思います。

高山市体育協会事業

市民登山の開催

第二十七回市民登山は、今年も飛騨山岳会の協力の元、去る七月二十四日(土)、十歳～八十一歳までの七十九名（スタッフ二十五名の計一〇四名）の参加を得て開催されました。

今回の市民登山は、御岳を目指し、標高一八〇〇mの濁河温泉をスタートして、仙人橋を渡り、湯の花峠・のぞき岩・八合目のお助け水を抜けて飛騨頂上（二、八一一m）を目指すもので標高差約千m、約四、二キロのコースでした。


市民登山

例年になく険しい道のりでしたが、好天に恵まれる中、参加者はゴゼンタチバナやコマクサなどの高山植物の花を楽しみながら飛騨頂上を目指しました。

残念ながら体調不良などにより三名の方がやむなく途中下山ということになりましたが、飛騨山岳会スタッフの適切な対応と指導により、その他の参加者は無事登頂することができました。

委員会だより

強化委員会
委員長　大平忠志

強化委員会は二十三名の理事及び評議員で構成され、三つの所管事項があります。

一、競技力向上対策の企画立案及び調査研究　二、優秀選手の育成強化　三、指導者の養成・研修となっており、本年度も評議員会で決定された事業計画に基づいて、第一回の委員会を開催し、七月の飛騨地区体育大会及び九月東濃地区で開催の岐阜県民スポーツ大会を目指して、具体的な目標を掲げての参加計画を立てました。

二十二の種目加盟団体がそれぞれ選手強化策を持って強化練習をしています。社会人として働きながら忙しい合間をぬって練習に参加する選手の悩み等も、リーダーの皆さんから聞き、体協としてできる限りの環境づくりをしなければと話し合っております。

そして結果として成績が示されるのですが、その前により多くの選手の皆さんに参加をして頂きたいと願っています。清流国体も目前に控えており、指導者の皆さんには更に選手強化の為にお力添えを頂きます様にお願いを致します。